

★停電の前に必要な設定方法 (ハイブリッド (スマートPV6.5kwh・9.8kwh))

使い方

## ユーザ設定を変更する (つづき)

【太陽光のモニター】の設定を変更  
(据置タイプのもので)

①ホーム画面の左下のメニューを押す  
②左下の設定を押す


■ 設定の変更方法

- 強制充放電モードを「強制充電」「強制放電」に設定している場合、充放電モードの設定が解除されます。(⇒52)

**1** 設定メニュー画面 (⇒15) で「蓄電」を選ぶ


- 蓄電設定画面が表示されます。

③蓄電を押す



**2** 「蓄電動作モード」を選ぶ

④蓄電動作モードを押す



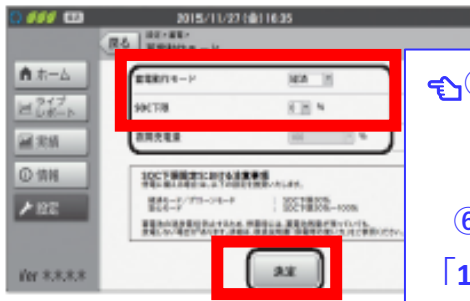
**3** 設定を変更し、「決定」を選ぶ

項目	設定
蓄電動作モード	蓄電動作モード (経済 / 安心 / グリーン) を設定します。 ● 設定を変更しても、外部制御中は反映されません。外部制御が解除された場合に反映されます。
SOC 下限	放電時に使用できる蓄電残量の下限值 (%) を設定します。(10% 刻み) - 経済モード: 0% ~ 30 (%) - 安心モード: 0% ~ 50% ~ 100 (%) - グリーンモード: 0% ~ 30 (%)
夜間充電量	夜間、蓄電池の蓄電残量を何%まで充電するかを設定します。 ● 蓄電動作モードの設定で「グリーン」に設定している場合、下記から選べます。 夜間充電なし (初期値) / 10/20/30/40/50 (%) ● 蓄電動作モードの設定で経済モード / 安心モードを選んでいる場合は 100% に設定されます。(設定は変更できません)

⑤蓄電動作モードを「安心モード」に変更

⑥SOC下限を「100%」に設定

⑦「決定」ボタンを押す



※それぞれのモードでの初期値になります。

- 設定した蓄電動作モードに切り替わります。
- SOC 下限は蓄電動作モード (経済モード / 安心モード / グリーンモード) ごとに設定できます。(それぞれのモードで SOC 下限の設定は記憶されます。)
- 蓄電池ユニットの過放電防止のため、停電時には規定の蓄電残量になると放電を停止します。規定値以上まで充電を行うと、放電を再開します。蓄電池の劣化状態により、放電を停止する蓄電残量の規定値は 9 ~ 24% (新品時 9%) の間で変動するため、SOC 下限設定を 0%、10%、20% に設定すると、停電時に電気をすぐに使用できない場合があります。停電時に電気を使用したい場合は、SOC 下限設定を 30% 以上に設定いただくことを推奨します。

47

**※停電になる恐れがなくなったら  
必ず設定を戻してください。**

⇒蓄電動作モードを  
**「経済モード」に変更**